

発行：港区議会議員 阿部 浩子
住所：港区麻布十番 2-4-1-201

TEL/FAX： 03-3452-2028 E-mail: info@hiroko-abe.com
URL: http://www.hiroko-abe.com

港区議会議員(立憲民主党) ひまわり通信

あ べ ひろ こ 阿部 浩子

命と暮らしを最優先!!

新年あけましておめでとうございます。皆様にとって昨年2021年はどのような年だったのでしょうか。

すべての方が新型コロナの影響をうけた1年でした。長期に渡り緊急事態宣言の発出、外出自粛要請、感染拡大を防止しながらの不自由な社会生活を求められました。

また、コロナ感染爆発の中で東京オリンピック・パラリンピック大会が強行され、今なお、私たちはオミクロン株という脅威に直面しています。ワクチン接種は3回目になろうとしています。

この2年間で様々な方々がコロナの影響を受けてきました。

私が理事をしている「NPO法人みなと子ども食堂」で8月に行った緊急アンケート調査では、港区民のフードパントリー（食糧支援）の利用者124世帯のうち、コロナの影響に直面している世帯は96%でした。

利用者の91.3%がひとり親世帯です。フードパントリーは昨年5月から年末12月29日のお弁当配布で22回開催してきました。この活動を通じて多くの子育て世帯の声を聞いてきました。

大きな影響をうけるのが社会的弱者といわれる子ども達、ひとり親世帯、高齢者の方々です。2022年こそは誰もが安心して暮らすことができる港区をつくっていきます。今年は皆様にとって夢と希望がもてる1年になってほしいと思います。

2022年1月

阿部 浩子



阿部浩子の議会報告 (2021年第3回定例会、会派で代表質問)

港区はコロナ禍で影響を受けている区民が増加している一方、区の税収は前年度水準を維持している全国的にみても稀有な自治体です。

人口は減少し、ふるさと納税の区民税収入の影響額は約41億円です。しかし、特別区民税収入の7割が給与所得でコロナの影響はほとんどうけていません。区民税収入の株式等の分離譲渡所得は約16%です。つまり、コロナで影響を受けているのは、非正規雇用と個人事業主です。

税金は所得の再分配です。私はコロナで影響を受けている区民に、より一層の支援をしていくことが区の役割だと思っています。そのことを踏まえ、武井区長に本会議で質問しました。



■コロナ禍で困窮している子育て世帯の支援を

質問：日本の子どもの貧困率は13.5%。さらにひとり親世帯の貧困率は48.1%、OECD加盟国の中でも特に貧困率が高い状態が続いている。みなと子ども食堂の緊急アンケートでは、利用者の非正規雇用や失業中は75.8%で4人に3人が経済や社会状況に左右されやすい環境の中で子育てをしている。利用者119世帯のうち、2020年の年収は240万円以下が72.3%、360万円以下では87.4%。コロナ禍前との月収との差額は1か月3万円以上の世帯が半数、1万～3万円の世帯が75%。子どもの貧困を防ぐため、現金給付などの更なる一層の支援が必要であり、コロナ以前より減収になっている子育て世帯に継続的な現物支給を。

答弁：4月から区ではエンジョイセレクト事業を行い、支援をしている。今後も継続していく。

■港区子ども医療費助成の拡大を

質問：港区子ども医療費助成事業は2005年に開始し中学校卒業まで無料。多くの区民に喜ばれている事業だが、中学校卒業してからがお金がかかる時期。子ども達の健全な育成のために、また、受診抑制につながらないために、高校卒業するまで医療費助成の拡大を。

答弁：義務教育修了後は、医療機関を受診する割合が低くなることから、助成対象を拡大するこ

とは現在のところ予定はしていない。

★高校生まで助成している市区町村は2020年4月現在で733自治体。全体の42%。今後も高校卒業まで拡大できるよう働きかけていきます。

■生理用ナプキンの配布継続を

質問：春から生理用ナプキンを区有施設で必要な方に配布してきた。子育て議員ネットワーク(阿部浩子も参加)の要望を受けて小中学校にも設置した。今後も経済的に厳しい女性にナプキンの配布継続を。

答弁：配布実績等踏まえ、施設での継続配布について検討していく。

■ヤングケアラーの支援を

質問：親の介護や看護、また親に代わって兄弟の面倒や食事の支度、洗濯などの家事をしている子どもたちがヤングケアラー。

国のヤングケアラー実態調査では、中学生の約17人に1人が1日平均4時間を家族の世話に費やしている。1日に7時間以上世話に費やしている子どもは約1割。港区の子ども達をヤングケアラーにさせない、支援する取り組みを。

答弁：早期に発見し、子どもが孤立しないよう社会全体で支援する取り組みを推進していく。

■災害に備えた取り組み強化を

質問：今年も地球温暖化の影響をうけ記録的な豪

雨や、川の氾濫や土砂災害が発生。8月には港区でも土砂災害警戒区域等に対し、警戒レベル3高齢者等避難を発令。区内には210か所の土砂災害警戒区域とより危険度の高い142か所の土砂災害特別警戒区域がある。避難対象者が警戒区域で暮らしていることをより認知してもらう取り組みが必要。また、区の公助による防災訓練以外にも、共助のための防災訓練を町会自治会、地域の防災士等とともに拡充すべき。あらゆる災害に備えた準備を。

答弁：ケーブルテレビ放送を通じて避難行動につながる情報を発信していく。また町会自治会が訓練を実施する際にはニーズにあわせた支援や取り組みを行っている。防災士が地域の共助関係の中でその知見を発揮し、訓練をサポートできるように参加を促していく。



■コロナ禍の避難所拡大を

質問：感染症対策で従来1人当たりの面積が1.65㎡から6㎡に拡大されたことに伴い、現在の港区の避難所は約3万人分不足。都立高校や寺社、今回ワクチン接種会場となったアメリカンクラブや森ビル、国際医療福祉大学等々、可能性が考えられる場所の確保を。

答弁：都立施設や寺社、宿泊事業者との協定をすすめ、大学や民間事業者などにも働きかけを行い、避難所の拡充に取り組んでいく。

■フードドライブ事業の周知を

質問：区民を対象にした未利用食品を集めるのがフードドライブ。それを福祉団体や子ども食堂を通じて必要としている人に配布している。今後も区民施設等での回収について周知し、区民の方々の利用拡大を。

答弁：現在区施設11か所に拡大。増設した窓口では夜間や土日でも受付をしている。今後も未利用食品を効果的に活用するため新たな提供先の検討と必要な方に確実に情報が届くようにしていく。



■家具リサイクル展を利用しやすいものに

質問：不要になった家具を区が引き取り、必要とする人が安価で購入できるのが家具リサイクル展。ごみの減量にもつながっている。しかし、会場にいかねば購入できない。ネットやアプリを使ってリユースできる仕組みが必要。資源がごみにならないよう循環型社会の構築を。

答弁：インターネットを活用して商品を紹介する等、利用を促進するための新たな仕組みについて検討していく。



郵便はがき

料金受取人払

芝局承認

2137

差出有効期間
2023年3月
31日まで
(切手不要)
84円切手貼付
ご協力下さい

1068790

024

港区麻布十番2-4-1-201

阿部 浩子 行



(ふりがな)		連絡できるお電話番号
あなたのお名前		
ご住所	〒 港区	
メールアドレス		@

※お名前がないと返信ができません。ご協力をお願いします。

(キリトリ線)





阿部浩子からのお知らせ



●私が役員を務めるNPO法人みなと子ども食堂として、「コロナ禍でのフードパントリー利用者の生活実態緊急アンケート調査から見えてきたもの」がマニフェスト大賞のエリア選抜認定をいただきました。2730件応募の160に選ばれました。

●緊急アンケート調査結果をもとに、今必要な支援を港区長に提言しました。



●東京新聞に掲載されました。

★今後も活動を通じて真に困っている方々を支援し、議会では実現できるように頑張っていきます。

●NPO法人のみなと子ども食堂の活動

港区の児童扶養手当受給世帯約850世帯に案内を送付し、約180世帯の方々が毎月みなと子ども食堂のフードパントリーを利用しています。

8月の緊急調査では、「食事の回数を減らしている」「エアコンを我慢している」等々、命にかかわるほど生活に我慢を強いられている世帯が多々ありました。

私たちはその子ども達と保護者の応援をするために、皆様からご寄付いただき、毎月の食料配布をしています。



お米、野菜、果物、お惣菜、乾麺、レトルト食品、お菓子、等々また、現金等をご協力をお願いいたします。

今年も引き続きこの支援を行っていきます。

その他電話でのお問い合わせ

080-7960-0207

ご寄付いただける方は
こちらから



港区政に関してのご意見・ご要望・ご質問・お困りごと等、みなさんの声を聞かせて下さい。

ご連絡させていただく場合は、 メール ・ 電話 (~ 時)

■「ひまわり通信」を多くの方に読んでいただきたく、港区のお知り合いの方をご紹介します。

お名前(ふりがな)	ご住所	電話番号
	〒 港区	
		ご関係

■「ひまわり通信」を郵送でご希望の方は、郵送希望に○印をお願いします。

郵送希望

■この通信はどこから届きましたか？ ご協力をお願いします。
新聞折込 (新聞) ・ ポスティング ・ 郵送

(キリトリ線)



阿部浩子プロフィール



- 港区議会議員(第46代港区議会副議長)
- 東京オリンピック・パラリンピック対策特別委員会副委員長
- 総務常任委員会所属
- S 43.2.7生、秋田県出身
- 昭和女子大学短期大学部食物科学科卒業、秋田テレビ株式会社、老人保健施設(栄養士)、衆議院議員秘書、2003年初当選、現在5期目
- 栄養士、東京都動物愛護推進員、麻布消防団員、防災士
- NPO法人みなと子ども食堂副理事長
- 家族：夫、娘(区立中3年)

ホームページ

阿部浩子

検索

